ド。写真や花束を持つ者も

た。手には小さなプラカー 十数人の人がたたずんでい

小雨降る中、

病院前に二

いる。

入院中のアウンサン

年の暮れから約

・スー・チーさんを気遣う

がとだ。

当然、

私服の秘

らにとっては、

命がけの行

南アジアの西端に位置する

「ビルマ」に滞在した。今

れる。

密警察に囲まれている。

彼

シャッターを切りなが

かもしれない。

「ドクッ、ドクッ、ドク

の日本では、「ミャンマー

という名の方が通りがいい

心臓の鼓動で胸が張り

軍事政権のビルマ。だが、

たこともある。だがこの数

年、

短期間の取材に行き詰

何が伝

で自分を追い込んだ。 方ない。そんな気持ちにま …。まあ、それはそれで仕 することができないかも

5

今、世界で自分一人。そう思 うと、緊張で胃が引きつる。

らの姿を撮っているのは 道関係者は誰もいない。彼 裂けそうになる。外国の報

されることはない。

れて、この国の実状が報道 北朝鮮やイラク報道に押さ

新聞社の特派員は、

ビルマ 日本の

いるのか。過去の取材を点 えられて、何が忘れられて まりを感じてきた。

これまで伝えられてこ

では、普通の人の本音を聞

取材制限の厳しいビルマ

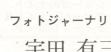
に常駐していない。記事の



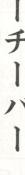
ナリスト 有 宇田

> ルマ語の習得に励んだ。 滞在当初の三カ月間は、

のは難しい。とりあえず いたり、自然な写真を撮る









ると、

確かに取材は楽にな

言葉がある程度自由にな

いる。

本語とビルマ語は似通って 日常会話のレベルでは、 (見る)+バー(~です)」。

 \Box

「サー(たべる)+チー 「食べてみてください

多くは隣国タイから発信さ 年。最も長い取材で、一度 に約三カ月半くらい滞在し この国へ通い始めて十二 なかった普通の人びとの姿 思い立った。 束され、もしかしたら帰国 を写真に記録しよう。そう 軍部と摩擦を起こして拘 3

3年、 神戸

生まれ。

を経て、 米国 教職

うだ・ゆうぞう 196

始めたからだ。

がすべて、秘密警察に見え

神的にきつくなった。周り

った。だが、それ以上に精

軍事政権下の人々や難民、 中米などで、 で写真を学

アジア、

黒田清記念JCJ新人賞を 貧困に焦点を当てて取材を 2002年、

続けている。

神戸市在住。